

【専門科目領域/専門科目群/看護の展開/成人・老年看護学】

科目名		ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
成人・老年看護援助論Ⅰ		NSP22__007	必修	2	2	後期
担当教員		研究室	電子メール ID		オフィスアワー	
堀口 まり子		410	mariko.horiguchi		授業終了後 月曜日 17:00～18:00	
授業の目的・概要		成人・老年期にある人は、取り巻く環境に影響されながら新たな役割を獲得し、ライフサイクルを営んでいる時期であり、ライフイベントのなかでも特に健康に支障をきたした場合、それまで持っていた役割を振り返り新たな自分らしさを再構築していくと同時に、加齢とともに生じる身体的・精神的健康状態をアセスメントし理解を深めていくことが求められる。本科目では、成人・老年期の看護に特有の概念や各期の特徴の学びを用いて看護実践をすることで対象者がより良く変化することの理解を深める。				
授業形式・方法		☒ 対面授業 ☐ 遠隔授業(双方向型) ☐ 遠隔授業(自主学習)	☒ 講義 ☐ 演習 ☐ 実習 ☐ 実技	☐ PBL ☒ グループワーク ☐ その他 ()	☒ 反転授業 ☒ フリップ・セッション	☐ ディスカッション・ディベート ☐ 実習・フィールドワーク
学習上の助言		成人看護学概論、老年看護学概論と連動した講義であるため復習をしてから受講すること。成人看護学概論、老年看護学概論で学習したことを踏まえ、発達段階や加齢に伴う心身の変化や様々な健康問題をもつ高齢者への看護を考えることが出来ること。人生の最終段階にある高齢者の看護とその家族への援助について理解することができること。成人期・老年期にある人に対して諸理論を活用しその家族の抱える問題や課題を発見し、高齢者を支える医療福祉制度について考える。授業中の質問については、オフィスアワー、リアクションペーパー等を積極的に活用すること。				
教科書		①成人看護学① 成人看護学概論／成人保健 第7版 /編:黒江ゆり子 /メヂカルフレンド社 /2021 ②経過別成人看護学③ 慢性期看護 /編:黒江ゆり子 /メヂカルフレンド社 /2021 ③ナツグクグラフィ他 老年看護学① 高齢者の健康と障害(第7版)/編:堀内ふき 他 /メディカ出版 /2023 ④ナツグクグラフィ他 老年看護学② 高齢者看護の実践(第7版)/編:堀内ふき 他 /メディカ出版 /2025 [4冊指定]				
参考書		特になし				
外部教材		特になし				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針		
①	看護理論の目的と活用が理解できる。			NS(1)～(5)		
②	成人期・老年期の生理的特徴を踏まえ、健康状態が生活にどのように影響するか説明できる。			NS(1)～(5)		
③	成人期・老年期の特徴を踏まえた看護について理解することができる。			NS(1)～(5)		
④	成人期・老年期の看護理論を活用した事例展開ができる。			NS(1)～(5)		
⑤	成人期・老年期の心理的課題の実際を理解し、看護職に必要とされる役割について考える事ができる。			NS(1)～(5)		
授 業 計 画						
回	学習内容等		授業方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	看護理論とは		講義	看護理論の目的、活用についてまとめる。		4
2	成人・老年期の看護理論の特徴		講義	各看護理論の特徴についてまとめる。		4
3	成人・老年期の看護理論の特徴理論の応用		講義	健康障害を持つ人に看護理論を用いた事例展開を整理する。		4
4	理論を活用した事例展開 (ロイ看護適応論)		講義	健康障害を持つ人に看護理論を用いた事例展開を整理する。		4
5	理論を活用した事例展開 (ロイ看護適応論)		講義 GW・発表	健康障害を持つ人に看護理論を用いた事例展開を整理する。		4
6	理論を活用した事例展開 (セルフケア不足看護論)		講義 GW	健康障害を持つ人に看護理論を用いた事例展開を整理する。		4
7	理論を活用した事例展開 (セルフケア不足看護論)		GW・発表・	健康障害を持つ人に看護理論を用いた事例展開を整理する。		4
8	理論を活用した事例展開 (自己効力感)		講義 GW	健康障害を持つ人に看護理論を用いた事例展開を整理する。		4
9	理論を活用した事例展開 (自己効力感)		GW・発表	健康障害を持つ人の看護理論を用いた事例展開を整理する。		4
10	理論を活用した事例展開 (エンパワメント)		講義 GW	健康障害を持つ人の看護理論を用いた事例展開を整理する。		4

【専門科目領域/専門科目群/看護の展開/成人・老年看護学】

11	理論を活用した事例展開（エンパワメント）	GW・発表	健康障害を持つ人の看護理論を用いた事例展開を整理する。	4			
12	理論を活用した事例展開（エンパワメント）			4			
13	理論を応用した事例展開（フィンク危機モデル）	講義 GW	健康障害を持つ人の看護理論を用いた事例展開を整理する。	4			
14	理論を応用した事例展開（フィンク危機モデル）	GW・発表 まとめ	健康障害を持つ人の看護理論を用いた事例展開を整理する。	4			
15	理論を応用した事例展開			4			
試	定期試験						
達成度評価							
総合評価割合（％）		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		50	30	0	0	20	100
総合力指標	知識・技術力	30	10	0	0	0	40
	思考・推論・創造する力	20	10	0	0	0	30
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	10	10
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	10	0	0	10	20
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	0	0
評価のポイント					フィードバックの方法		
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①	✓	定期試験では、看護理論の理解・知識をもって、事例展開ができる、また自己の看護観について述べられていることで評価する。形式は記述式である。				必要に応じて解説する。学生の質問に答える。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
レポート	①	✓	授業の中で課題としたレポートの内容(理論の意義 事例展開 等)提出状況（提出期限厳守等）で評価する。				提出したレポートにコメントし返却する。または授業中に助言する。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
その他	①	✓	グループワークでの意見交換や発表を繰り返し、事例を通して理論の理解を深めるとともに積極的な発言を評価する。授業への欠出席、態度を評価する。リアクションペーパーの提出を評価する。				必要に応じて授業中に助言を行う。
備 考							
他担当教員							
教員の実務経験		科目責任者は、看護師として 40 年の臨床経験を有する。					
実践的授業の内容		看護師として病院勤務経験を有する教員が、その経験と知識を活かし、成人・老年看護の基本的な知識の修得を目指す。					
その他		・授業には特別の理由がない限り毎回出席し、理由のない授業の欠席は減点とする。 ・感染症の状況などの社会情勢により再度シラバスの変更があることも考えられるが、その際は随時、知らせることとする。					